

平成17年7月14日

各 位

会社名 西武鉄道株式会社  
代表者名 取締役社長 後藤高志  
問合せ先 広報部長 関根正裕  
(TEL 04-2926-2045)

## アスベスト（石綿）による元従業員の労災認定について

昨今、社会問題になっているアスベスト（石綿）に関し、当社の元従業員が健康障害を起こして死亡し、労災認定を受けた事例がありましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 労災認定の状況について

平成12年4月に当社の従業員1名（当時47歳）が、アスベストが原因と疑われる中皮腫と診断され、同年10月に死亡し、翌13年6月に労災認定が決定（同12年4月に遡って認定）しております。

当該従業員は、昭和49年3月に入社以降、所沢車両工場（埼玉県所沢市・平成12年6月に廃止）で鉄道車両の保守作業に従事し、昭和50年から約2年間、アスベストを含む抵抗器の遮熱板や暖房器の防熱板の粉塵を払い落とす作業に携わっておりました。

#### 2. アスベスト製品の取扱い状況等について

当社では、平成12年6月までは所沢車両工場において鉄道車両の製造ならびに保守を行っておりました。アスベストに関しましては、平成2年6月まで一部車両の部品に使用されておりましたので、当時は当該部品の着脱や保守・清掃など一部作業の際に飛散していた可能性があります。しかし、この件を受け、労働基準監督署が当時の状況を再現して実施した作業環境調査の結果では、アスベストは一切検出されませんでした。

平成12年6月以降は、武蔵丘車両検修場（埼玉県日高市）において鉄道車両の検査・修繕を行っております。現在でも旧型車両の一部の部品にアスベスト成分が含まれておりますが、成形品であり、空気中への成分の飛散はありません。さらに、作業は集塵機能を完備した密閉空間においてロボットにより行っておりますので、近隣への影響はないものと考えております。また、車内でお客さまに触れる場所には使用されておられませんので、お客さまへの影響もないものと考えております。

なお、本件以降、他の関係従業員についても継続的に健康診断を行っておりますが、異状は認められておりません。

#### 3. 今後の対応について

現時点で、他の従業員あるいは工場周辺地域からアスベストの影響と思われる健康障害の報告・相談等はありません。

当社といたしましては、アスベスト問題に対して行政や関連団体との情報交換を行うとともに、そうした報告・相談等があれば誠意をもって対応してまいります。

当社は今後とも安全面に最大限に配慮した事業運営を行ってまいります。

以上